



日章学園九州国際高等学校校長便り 文月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：為せば成る

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和4年(2022年)7月1日(金)校長 屋田伸仁



# 学びて時に之を習ふ



5月28日(土)に志布志市文化会館ホールで、生涯学習講座開講式のオープニングの特別講演をしました。内容が生涯学習なので、演題は学習の原点である、論語の「学びて時に習ふ 亦説ばしからずや」にしました。上海日本人学校で勤務しているときに、論語や故事成語に関心を深めました。孔子の言葉は、「学んで復習する喜び」を述べていると、一般的に解釈されますが、私は、「習」の意味は、復習だけでなく、実習や発表の喜びもあると思っています。ピアノを学んだ人がピアノ発表会で発表する。書道を学んだ人が展示会で作品発表する。これも、また楽しいことです。



私は、40数年間、手品を自己流で学んで、いろんな場で楽しんで披露してきました。講演は、手品を取り入れながら、驚きと笑いのある楽しいステージショーになりました。好評でした。

芸は身を助けるではないですが、何かひとつ、生涯学習を学び続けると、そこから人とのいい出会いがあったり、思わず仕事の充実・発展に繋がったりするものです。また、生涯学習そのものが生き甲斐づくりになります。

高校生の皆さんも、高校時代という限られた期間の教科学習だけでなく、生涯楽しく学び続けられる「生涯学習」(「生涯樂習」という人もいる)にも挑戦して、自分の人生をより豊かにしてほしいと願います。

## 人生100年時代

「青春」 サミュエル・ウルマン

HAPPY

It's show time

人生100年時代

青春とは人生の一時期のことではなく  
心のあり方のことだ

青春とはこころの若さである

6月中旬頃、えびの市のあるボランティア団体から「6月の例会」の講師として「手品と講話」を頼まれました。快く引き受けました。平均年齢は78歳でした。皆さん、溌剌としてお若い。ボランティア活動を通して、生き甲斐のある人生を満喫しているように感じました。「人生100年時代」と題して、サミュエル・ウルマンの詩「青春」を紹介しました。青春とは16歳、70歳という年齢ではなく、「こころの若さ」のことを言います。皆さん、まだ、青春時代ですよ。人生100年時代で、これからまだ、20年以上あります。楽しく、心豊かな人生を謳歌しましょう。そこで、私からコミュニケーションマジックを3つ教えます。近所の人やお孫さんに使ってみてください。「千円札が手の平で独りでにあいさつするなんて、おじいちゃん、ハンドパワーすごすぎ!」とか「何で生年月日がすぐわかるの、おばあちゃん、天才!」と言われること間違はありません。それにしても、高齢者の皆さんの創作意欲や集中力は、素晴らしいかったです。あっと言う間の1時間半でした。



ところで、本校でも、生徒達を対象に「総合的な探究の時間」に人間関係づくりに役立つコミュニケーションマジックを教えています。昨年は、えびの市の家庭教育学級でも保護者を対象に教えました。これからも、関心のある方にコミュニケーションマジックを教えます。ぜひ、日章学園九州国際高等学校まで、ご連絡ください。お待ちしております。